

[成果情報名] 二季咲きラベンダーの新品種「長崎 Lav3」の特性

[要約] 二季咲きラベンダー新品種「長崎 Lav 3」は、ガク（蕾）及び小花の色が濃く、加温電照促成栽培では春季は5月上旬に開花し、その後5月末に切り戻すと夏季は7月に、その後8月下旬に切り戻すと秋季は11月に開花する。

[キーワード] ラベンダー、花色、促成栽培、切り戻し

[担当] 長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330

[区分] 花き

[分類] 普及

[作成年度] 2018 年度

[背景・ねらい]

これまで耐暑性を有する、春秋二季咲きラベンダー品種として「城南1号」、「リトルマミー」が商品化されている。しかしこれらは、加温電照促成栽培での開花開始が5月上旬で開花期は9月までで、花穂の色もやや薄かった。このため、より開花が早くて出荷が前進し、開花期間が長く、さらに花色が濃い品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

二季咲きラベンダー新品種「長崎 Lav 3」は、2013年4月に播種した購入種子の実生から選抜した系統であり以下の特性をもつ。

1. ガク（蕾）の色は紫で、小花の花冠の色は青紫（RHS カラーチャート VIOLET-BLUE GROUP N88-B）で「リトルマミー」より濃い（写真1、2）。
2. 無加温栽培での開花は、5月下旬～6月上旬である（データ略）。
3. 加温電照促成栽培では2月10日加温電照処理開始により、5月上旬に開花し、「リトルマミー」より2日～8日早い（表1）。現地圃場では、「リトルマミー」より株高、最長花茎長が短くなる（表2）。
4. 加温電照促成栽培開花株（2月10日温開始）を5月30日に花穂下2対葉から切り戻すとその後の開花日は7月23日で「リトルマミー」より到花日数は17日早い（表3）。
5. 8月25日に開花株を同様に再度切り戻すと、11月末までの開花率は「リトルマミー」は2%と著しく低い、「長崎 Lav 3」は56%の枝で開花する（表4）。

[成果の活用面・留意点]

1. 小花の開花始め日を開花日とした。実際の苗物、鉢物としての出荷時期は開花前のガクの着色時期であるため、開花始め日より2～3週間早く、促成栽培では2月10日加温電照処理開始で4月中旬からの出荷が可能である。また、8月下旬切り戻しで10月出荷が可能である（参考 図1）。
2. 「長崎 Lav 3」は枝が伸びやすい傾向がある。
3. 2018年12月3日「長崎 Lav 3」の品種名で品種登録出願された。

[具体的データ]

表1 加温電照促成栽培における春季の開花特性

年度	品種	開花日 (月・日)	加温開始後 到花日数	開花枝数 /株 (本)	開花枝率 /株 (%)
2016年	長崎Lav3	5/2±0.8 ^z	82	10.6	100
	リトルマミー	5/10±0.9	90	17.4	100
2017年	長崎Lav3	5/6±1.7	86	10.8	96
	リトルマミー	5/8±2.2	88	11.8	100

耕種概要：(2016年)挿し芽・2015年6月3日、鉢上げ7月10日3号ポット、
2016年2月10日4号ポット。加温2月10日より(13℃)。
加温開始時より発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)
(2017年)挿し芽・2016年8月19日、鉢上げ9月19日3号ポット
加温2017年2月10日より(13℃)。電照方法は2016年に同じ。

z：±標準偏差

表2 現地圃場での加温電照促成栽培における
春季の開花特性 (2017年4月26日調査)

品種	株高 ^z (cm)	最長 花茎長 (cm)	花穂長 (cm)	発蕾枝数 /株 (本)	発蕾枝率 /株 (%)
長崎Lav3	19.0	14.0	3.0	25.3	100
リトルマミー	24.3	19.7	3.1	31.7	100
有意差 ^y	*	*	n.s	n.s	-

耕種概要：西海市西彼町、挿し芽・2016年6月10日、鉢上げ2016年7月10日
(3号ポット)、2017年2月10日(4号ポット)、加温2017年2月10日
より12度、電照夜間5時間

z：株高は鉢用土面から株の最上部までの長さ

y：t検定により*は5%水準で有意差あり、n.sは有意差無し。

表3 加温電照促成栽培後切り戻しによる夏季の
開花特性 (2017年調査)

品種	平均開花日 (月・日)	切り戻し後 到花日数 (日)	開花枝数 /株	開花枝率 /株 (%)
長崎Lav3	7/23±1.4 ^z	54	17.0	68
リトルマミー	8/9±2.5	71	18.2	64

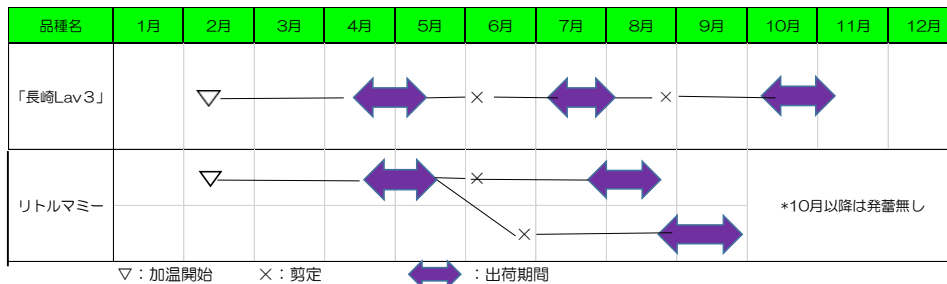
耕種概要：加温電照促成栽培による開花後、2017年5月30日切り戻し。
2017年6月12日4号ポット鉢上げ。わい化剤散布無し。
切り戻し後発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)

z：±標準偏差

表4 夏季開花後切り戻しによる秋季の開花特性
(2017年11月27日調査)

品種	伸長枝数 /株 (本)	開花枝数 /株 (本)	開花枝率 /株 (%)
長崎Lav3	26.5	14.8	56
リトルマミー	25.3	0.5	2

耕種概要：加温電照促成栽培による開花後、2017年5月30日切り戻し。
6月12日4号ポット鉢上げ。夏季開花後8月25日切り戻しを行い、
発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)。



【参考】 図1 「長崎Lav3」と「リトルマミー」の出荷可能時期

[その他]

研究課題名：ながさきオリジナル新品種開発推進事業

予算区分：県単

研究期間：2015~2017年度

研究担当者：諸岡淳司、竹邊丞市、岳田 司



写真1 左「長崎Lav3」、右「リトルマミー」
(撮影 2018年5月17日 農林技術開発センター)



写真2 左「長崎Lav3」、右「リトルマミー」
(撮影 2018年4月16日)